

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名

消防団デジタル化事業

自治体名

朝倉市

消防団名

朝倉市消防団

1 事業の目的

団員の出動状況管理や報酬等支払業務の煩雑化を解消するとともに、平時業務を含めた消防団事務の効率化を推進するためのシステムを導入する。またシステム導入に合わせ災害現場で有用な機能を導入し、消防団の消防防災機能の向上を図る

2 事業内容

○消防活動支援システムの導入

出動報告から団員報酬支払い事務までを管理し、また、災害現場の情報共有ができるシステムを導入した。

3 事業成果

消防活動支援システム「FireChief」を導入したことにより、団員報酬に係る情報をクラウド上に一元化することができた。また、課税計算が簡素化され、報酬支払業務の煩雑化を解消できた。

「FireChief」はGPS機能を用いて団員の位置情報を地図上に表示するほか、水利情報など消防活動に必要な情報を共有可能であり、消防団員の災害活動に非常に有力である。

当システムの導入により、消防団の消防防災機能を大きく向上できた。

今後も消防団とシステムの機能充実等について引き続き協議を行い、更なる消防防災機能の向上を図る。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
検討会	回数	3回	3回	システムを用いて団員報酬の支出等に活用した。アプリ導入は、GPSの活用等について消防団と引続き協議を行い、7年度内にインストールを行う。
説明会	回数	2回	1回	
アプリ導入	人数	753名	0名	

5 その他参考情報

